

でかけよう！つなげよう！元気のわ！！ ～平和で健康 笑顔あふれるまちを～

青森県生協連は、「平和とよりよき生活のために」県内生協の連合体として結成され、今年62周年を迎えました。この間、多くの組合員の力で食の安全や環境を守る活動、核兵器廃絶や憲法9条を守る取り組みなど、平和と憲法、暮らしを守る取り組みを諸団体とともに積み上げてきました。

今、平和と憲法、暮らしが脅かされています。10月1日から消費税が10%に引き上げられました。しかし、キャッシュレスポイント還元など増税額を上回るバラマキの景気対策を行うなど政策は首尾一貫していません。年金だけでは老後の生活資金が2千万円足りなくなるという審議会意見を圧殺するなど、将来の国民生活の安定に向けた議論は拒否し続けています。もはや安倍首相は、国民の暮らしよりも憲法改定と軍事力強化しか見えていないようです。何が何でも憲法に自衛隊を明記することで、アメリカと一緒に海外で戦争する国にするということをめざしています。しかし、国民は安倍政権に屈服してなどいません。先の参議院選挙では、改憲支持勢力を発議に必要な3分の2以下に減少させ、沖縄では辺野古新基地に反対する勢力が議席を守り続けています。平和を守る活動でも、ヒバクシャ国際署名は1051万人を数え、県内でも10万4千筆の署名が集まっています。核兵器禁止条約に日本の参加を求める自治体決議は、県内でも青森市を含む14自治体に広がりました。世界各国での運動の広がりの中で、条約への署名は79ヶ国に、批准は33ヶ国に広がっています。2020年には条約発効も夢ではありません。世界が平和と進歩に向け前進することを願い、私たちの力を結集していきましょう。

青森県の人口は、2030年には103万人にまで減少すると言われていています。若い世代の流出と高齢化が進行し、農業・漁業をはじめ県内産業の多くが後継者不足となり先行きが不安です。地球温暖化で自然災害が深刻化しています。住み慣れた地域で安心して暮らしていくための困難が増えています。ひとの健康だけではなく、地域社会の活力、地球環境の元気が求められています。

青森県生協連は、健康で安心して暮らし続けられる地域をめざし、「誰一人取り残さない社会」の実現に向けて、行政や諸団体、様々な組織、多くの県民と力を合わせ取り組んでいきます。平和で健康、笑顔あふれるまちづくりを協同の力ですすめていきましょう。

2019年11月14日
第35回青森県生協大会